



平成24年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドン・キホーテ

コード番号 7532 URL <http://www.donki.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 成沢 潤治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 高橋 光夫

TEL 03-5725-7588

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年6月期第1四半期の連結業績(平成23年7月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年6月期第1四半期	134,863	8.1	7,781	13.1	7,405	15.3	6,674	116.3
23年6月期第1四半期	124,716	0.9	6,881	32.9	6,422	32.3	3,085	△13.5

(注) 包括利益 24年6月期第1四半期 6,793百万円 (133.9%) 23年6月期第1四半期 2,904百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年6月期第1四半期	86.64	86.44
23年6月期第1四半期	42.78	40.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年6月期第1四半期	355,360	132,172	36.7
23年6月期	341,300	125,242	36.2

(参考) 自己資本 24年6月期第1四半期 130,299百万円 23年6月期 123,606百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年6月期	—	10.00	—	18.00	28.00
24年6月期	—	—	—	—	—
24年6月期(予想)	—	10.00	—	18.00	28.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年6月期の連結業績予想(平成23年7月1日～平成24年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	272,000	6.5	15,200	7.1	14,900	6.2	10,000	32.5	129.78
通期	528,900	4.2	27,000	6.6	26,800	6.6	14,000	10.6	181.69

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年6月期1Q	77,055,380 株	23年6月期	77,030,780 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年6月期1Q	1,244 株	23年6月期	1,244 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年6月期1Q	77,035,875 株	23年6月期1Q	72,102,709 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残る中で、生産体制の復旧が進み、国内の経済活動は着実に回復基調にあるものの、欧州債務問題や米国景気の減速懸念及び急激な円高の進行などにより、依然として先行きに対する不透明感が拭えない状況が続いています。

小売業界におきましては、雇用情勢や所得環境が、厳しい状況下にあることに加えて、株価低迷の長期化なども消費マインドを冷え込ませております。そのため、多様化する顧客ニーズはもとより、節約志向に対しても、迅速で柔軟に対応する体制が重要になってきました。

このような状況の中で、当社は「顧客最優先主義」を実践する業態創造企業として、高品質のアミューズメントとサービス及びプライスを常に進化させながら、お客さまに「感激」していただける店舗運営実現のため、さまざまな施策を実行してまいりました。

また、お客さまの行動や嗜好の変化にあわせて、買い回り品はもとより、食料品や日用雑貨品といった最寄品に至るまで、品揃えの充実を図りながら、リーズナブルな価格提案を行うことにより、お客さま支持率を高めてまいりました。

さらに、ひとりでも多くのお客さまに「感激」していただけるよう、当期も機動的かつ効率的な出店及び店舗改装を推進するとともに、プライベートブランド「情熱価格」の販売を拡大するなど、グループ総合力を強化してまいりました。

平成23年7月から同年9月末までの店舗の状況につきましては、関東地方に2店舗（東京都ドン・キホーテ高田馬場駅前店、埼玉県essence川口駅前店）を開店し、その一方で、震災の影響により1店舗（ドイト仙台若林店）を閉店しました。

この結果、平成23年9月末時点における当社グループの店舗数は、229店舗（平成23年6月末時点 228店舗）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,348億63百万円、営業利益77億81百万円、経常利益74億5百万円、四半期純利益66億74百万円となりました。

セグメントの業績については、①リテール事業における売上高は1,296億25百万円、営業利益は59億43百万円、②テナント賃貸事業における売上高は39億77百万円、営業利益は12億89百万円、③その他の事業における売上高は12億61百万円、営業利益は4億88百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(単位：百万円未満四捨五入)

	平成23年6月前期末	平成23年9月当四半期末	増減額
資産合計	341,300	355,360	14,060
負債合計	216,058	223,188	7,130
純資産合計	125,242	132,172	6,930

1. 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末（平成23年9月30日）における財政状態において、総資産は前連結会計年度末（平成23年6月30日）と比較し、140億60百万円増加して、3,553億60百万円となりました。これは主として、現金及び預金が58億15百万円、有形固定資産が67億54百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末と比較し、71億30百万円増加して、2,231億88百万円となりました。これは主として、借入金が134億87百万円増加した一方で、未払法人税等が16億5百万円及び災害損失引当金が6億57百万円減少したことによります。

純資産は、前連結会計年度末と比較し、69億30百万円増加して、1,321億72百万円となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により得られた資金は、純利益の計上及び減価償却費の計上等により、48億53百万円となりました。

投資活動に使用した資金は、定期預金の預入、有形固定資産の取得による支出及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出等により、156億37百万円となりました。

また、財務活動により得られた資金は、借入金の増加といった増加要因があった一方、社債の償還による支出及び更生担保権の返済による支出といった減少要因により、95億53百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、291億31百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

東日本大震災の影響が残り、消費者の節約志向が高まっている中で、生活必需品等の積極的な販売提案や価格施策を進めた結果、客層が拡大しております。一方で、欧州財政危機やタイの洪水問題が及ぼす影響も懸念されます。

このような状況をふまえ、平成23年8月18日の決算短信で公表いたしました平成24年6月期の第2四半期連結累計期間の業績予想について下記のとおり修正します。なお、通期の連結業績予想について変更はありません。

平成24年6月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正（平成23年7月1日～平成23年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	270,000	14,700	14,600	7,800	101 26
今回修正予想 (B)	272,000	15,200	14,900	10,000	129 78
増減額 (B - A)	2,000	500	300	2,200	—
増減率 (%)	0.7	3.4	2.1	28.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成23年6月期第2四半期)	255,481	14,193	14,031	7,549	102 03

当社グループが事業を遂行している限り、様々なリスクや不確実性が伴います。そのため、実際の業績に影響を与える重要な要因として、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,031	40,846
受取手形及び売掛金	4,585	4,266
買取債権	6,787	7,026
商品及び製品	81,582	81,027
その他	6,544	7,452
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	134,515	140,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	58,056	57,749
工具、器具及び備品(純額)	9,396	9,496
土地	87,187	93,766
その他(純額)	231	613
有形固定資産合計	154,870	161,624
無形固定資産	6,461	8,916
投資その他の資産		
投資有価証券	4,362	3,949
敷金及び保証金	33,303	32,508
その他	12,474	12,837
貸倒引当金	△4,685	△5,077
投資その他の資産合計	45,454	44,217
固定資産合計	206,785	214,757
資産合計	341,300	355,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,430	43,700
短期借入金	14,935	20,085
1年内返済予定の長期借入金	11,774	13,569
1年内償還予定の社債	12,922	13,977
未払法人税等	4,434	2,829
ポイント引当金	186	163
災害損失引当金	1,132	475
資産除去債務	153	94
デリバティブ債務	2,978	3,295
その他	15,127	13,304
流動負債合計	106,071	111,491
固定負債		
社債	58,029	56,720
転換社債	350	350
長期借入金	35,570	42,112
デリバティブ債務	128	160
役員退職慰労引当金	367	373
負ののれん	2,449	2,234
資産除去債務	1,705	1,711
その他	11,389	8,037
固定負債合計	109,987	111,697
負債合計	216,058	223,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,561	19,585
資本剰余金	22,364	22,388
利益剰余金	85,165	91,941
自己株式	△3	△3
株主資本合計	127,087	133,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△327	△416
為替換算調整勘定	△3,155	△3,197
その他の包括利益累計額合計	△3,482	△3,613
少数株主持分	1,637	1,873
純資産合計	125,242	132,172
負債純資産合計	341,300	355,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
売上高	124,716	134,863
売上原価	92,627	100,026
売上総利益	32,089	34,837
販売費及び一般管理費	25,208	27,056
営業利益	6,881	7,781
営業外収益		
受取利息及び配当金	152	170
負ののれん償却額	214	214
その他	331	363
営業外収益合計	697	747
営業外費用		
支払利息	416	420
デリバティブ評価損	285	323
その他	455	380
営業外費用合計	1,156	1,123
経常利益	6,422	7,405
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	—
更生債権弁済益	—	1,782
その他	—	391
特別利益合計	5	2,173
特別損失		
固定資産除却損	22	49
投資有価証券評価損	15	—
投資有価証券売却損	—	109
店舗閉鎖損失	88	2
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	682	—
減損損失	—	94
その他	280	27
特別損失合計	1,087	281
税金等調整前四半期純利益	5,340	9,297
法人税、住民税及び事業税	2,416	2,746
法人税等調整額	△287	△360
法人税等合計	2,129	2,386
少数株主損益調整前四半期純利益	3,211	6,911
少数株主利益	126	237
四半期純利益	3,085	6,674

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,211	6,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△77
為替換算調整勘定	△281	△41
その他の包括利益合計	△307	△118
四半期包括利益	2,904	6,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,778	6,556
少数株主に係る四半期包括利益	126	237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,340	9,297
減価償却費	2,197	2,357
負ののれん償却額	△214	△214
引当金の増減額(△は減少)	81	△119
受取利息及び受取配当金	△152	△170
支払利息	416	420
デリバティブ評価損益(△は益)	285	323
投資有価証券評価損益(△は益)	15	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	682	—
更生債権弁済益	—	△1,782
売上債権の増減額(△は増加)	△313	187
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,672	△1,921
仕入債務の増減額(△は減少)	3,093	736
その他	1,381	665
小計	10,139	9,779
利息及び配当金の受取額	106	126
利息の支払額	△583	△532
災害損失の支払額	—	△256
法人税等の支払額	△3,688	△4,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,974	4,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,100	△11,800
定期預金の払戻による収入	3,114	7,172
有形固定資産の取得による支出	△2,998	△5,130
敷金及び保証金の差入による支出	△284	△20
敷金及び保証金の回収による収入	632	579
投資有価証券の売却による収入	927	190
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△6,360
その他	△362	△268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,071	△15,637

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,133	5,150
長期借入れによる収入	10,000	12,000
長期借入金の返済による支出	△3,004	△3,335
社債の発行による収入	9,000	4,901
社債の償還による支出	△4,554	△5,254
更生担保権の返済による支出	—	△2,550
配当金の支払額	△1,081	△1,387
その他	△28	28
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,466	9,553
現金及び現金同等物に係る換算差額	△73	△20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△704	△1,251
現金及び現金同等物の期首残高	38,911	26,875
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8	—
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△215	△0
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	3,507
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,000	29,131

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	119,844	3,966	123,810	906	124,716	—	124,716
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	624	624	224	848	△848	—
計	119,844	4,590	124,434	1,130	125,564	△848	124,716
セグメント利益	5,473	1,240	6,713	116	6,829	52	6,881

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額52百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「リテール事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間において会員制卸売型小売事業に関する事業を譲り受けたことに伴い、新たにのれんが66百万円増加しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	リテール	テナント 賃貸	計				
売上高							
外部顧客への売上高	129,625	3,977	133,602	1,261	134,863	—	134,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	720	721	449	1,170	△1,170	—
計	129,626	4,697	134,323	1,710	136,033	△1,170	134,863
セグメント利益	5,943	1,289	7,232	488	7,720	61	7,781

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、マーケティング事業、携帯機器販売事業、金融サービス事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額61百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「その他事業」セグメントにおいて、当第1四半期連結累計期間において、合同会社名古屋栄地所及び同社子会社1社の新規連結により、新たにのれんが1,870百万円増加しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。